



丸尾 克己 さん  
栖本町馬場・61歳  
◎瑞宝双光章  
元3等空佐



益崎 洋一郎 さん  
大浜町・59歳  
◎黄綬褒章  
益崎塗装店代表取締役



端場 賢吾 さん  
八幡町・76歳  
◎緑綬褒章  
環境美化奉仕者



坂本 眞吾 さん  
牛深町・65歳  
◎瑞宝单光章  
元天草市消防団分団長



塩田 實治 さん  
楠浦町・82歳  
◎瑞宝双光章  
元本渡土地改良区理事長



山田 幸明 さん  
佐伊津町・70歳  
◎瑞宝单光章  
元天草広域連合消防司令



受章おめでとうございます

― 秋の褒章・叙勲 ―

※写真下は氏名、住所、年齢、受章種別、主要経歴。受章種別の  
◎は秋の褒章、①は危険業務従事者叙勲、②は秋の叙勲



幻想的な明かりに包まれて  
第14回御領石竹秋宵まつり



制作に1カ月半かかった  
崎津教会の竹灯ろう

11月3・4日、「御領石竹秋宵まつり」が五和町御領門前町一帯で開催され、約4,000人が来場しました。御領まちづくり振興会が平成18年から毎年開催しているもので、今年は、崎津教会をかたどった竹灯ろうがお目見え。御領石や陶器など約5,000個の灯ろうに明かりが灯ると一帯は幻想的な光に包まれました。

来場者は、「感動してたくさん写真を撮りました」と話していました。

同年代へのガイドは私たちにお任せ！  
中学生ガイドが修学旅行生を案内



▲崎津教会前で説明を行うボランティアガイド

10月25日、河浦町の崎津集落でボランティアガイドを行う河浦中学校の生徒7人が、広島市立仁保中学校の修学旅行生91人に、集落の歴史や見どころを案内しました。

夏休みに講習を受け、この日がガイドデビューとなった3年生の道上伶音くんは、「緊張したけど、崎津の良さをしっかり伝えることができました」と話し、ほっとした表情を見せていました。

イベントカレンダー

- AMAKUSAN SANTA Island  
イルミネーション・モバイルスタンプラリー  
【～1月13日】市内イルミネーション会場
- 1 ⊕ イルミネーション点灯【11月24日～1月13日】  
17:00～22:00(市役所裏河川プロムナード・銀天街サンタ通り)  
牛深あかね市【～2日(8:30～15:00)】  
9:50～16:00(牛深ハイヤ大橋横・芝生広場周辺)  
牛深イルミネーション点灯【～1月12日】  
17:00～24:00(牛深ハイヤ大橋横・芝生広場)
- 崎津イルミネーション点灯【～1月6日】  
17:30～22:00(崎津教会)
- 大江イルミネーション点灯【～1月6日】  
17:30～22:00(大江教会・天草ロザリオ館周辺)
- 2 ⊕ 下田イルミネーション点灯【～1月5日】  
17:00～22:00(下田温泉足湯広場)  
第41回 碓石ふるさと祭り  
9:00～(碓石地区コミュニティセンター周辺)
- 3 月  
5 ⊕
- 6 ⊕ 天草アーカイブズ企画展「Road to 崎津-海から陸へ-」  
【～14日】9:00～17:00(天草市民センター展示ホール)
- 7 ⊕
- 御所浦クリスマスマーケット・イベント  
10:00～(御所浦物産館しおさい館前広場)
- 8 ⊕ 御所浦イルミネーション点灯【～1月10日】  
17:30～23:00(御所浦物産館しおさい館前広場)  
開館10周年記念 ステンドグラス作品展【～16日】  
9:00～17:00(天草文化交流館)
- 9 ⊕  
10 月
- 11 ⊕ 崎津集落電動カート試乗会【～24日】  
9:30～17:00(崎津集落)
- 12 ⊕  
13 ⊕
- 14 ⊕ アーチェリー日本代表 田畑隼剛選手講演会  
15:00～16:00(本渡東中学校体育館)
- 15 ⊕ アーチェリー体験教室  
10:00～15:00(本渡東中学校体育館)
- 16 ⊕  
18 ⊕
- 19 ⊕ 女性のための無料法律相談  
10:00～12:00(市男女共同参画センターばぼらす)
- 20 ⊕  
21 ⊕
- 22 ⊕ 崎津教会チャペルコンサート  
15:00～(崎津教会)
- 23 ⊕ 皇誕生日  
振替休日
- 24 ⊕ 大江教会アカペラコンサート  
18:00～(天草ロザリオ館)
- 25 ⊕  
31 ⊕

Contents 主な内容

- 3 宝島のわだい
- 7 天草のキリシタン遺産
- 8 交流で広がる「世界」
- 13 あまくさん／スポーツ大好きっ子
- 14 みんなの広場
- 16 暮らしの情報
- 30 市民のひろば
- 33 健康ごよみ
- 34 天草の潮汐／行政相談所を開設  
休日在宅病・医院／献血日程／  
水道修繕当番店
- 36 いきいき健康

天草の情報  
発信中！



Facebook



Instagram

人のうごき

10月31日現在

| 10月中の異動 |              | ※( )内は前月比 |      |
|---------|--------------|-----------|------|
| 人 口     | 81,266 (94減) | 出生        | 29人  |
| 男       | 38,161 (51減) | 死亡        | 124人 |
| 女       | 43,105 (43減) | 転入        | 126人 |
| 世帯数     | 37,072 (23減) | 転出        | 125人 |

問い合わせ先

|     |  |
|-----|--|
| 本 庁 | 天草市役所・市庁舎別館 ☎21111<br>〒863-8631 天草市東浜町8番1号   |
| 支 所 | 牛 深 ☎32111・有 明 ☎53111<br>御所浦 ☎67211・倉 岳 ☎64311<br>栖 本 ☎66311・新 和 ☎46211<br>五 和 ☎32111・天 草 ☎42111<br>河 浦 ☎76111 |

## みこしが船で海を渡る 産島八幡宮例大祭



▲海を渡ってきた神様を  
迎える住民

河浦町宮野河内の沖合にある無人島「産島<sup>うぶしま</sup>」。10月27・28日、「産島八幡宮例大祭」が行われ、ご神体が神輿に乗って向かいの上平十五社宮に船で渡りました。明治のはじめ、島の神様を船で迎えに行きもてなしたのが始まりとされ、「海を渡る祭礼」として市無形民俗文化財に指定されています。

ご神体を迎え入れた十五社宮では子どもたちによる太鼓踊りや獅子舞などが披露され、多くの見物客でにぎわいました。

## 新種目に観客大笑い 第7回嵐口地区運動会



▲足つぼサンダルで「ヨーイ、ドン！」

10月14日、嵐口漁民グラウンドで「嵐口地区運動会」が開かれました。同地区振興会が2年に1度開催しており、3地域に分かれた約400人がリレーや長縄跳びなどで熱戦を繰り広げました。

新種目の“足つぼサンダルリレー”では、痛みに耐えながら走る姿に笑いが起こり、実際に走った参加者は、「具合ん悪くなるくらい痛かった」と話していました。

## 里山に響く歌声 福連木子守唄&童謡まつり2018in天草



▲かすりの着物を着て子守唄を披露する小学生

11月4日、天草町の福連木体育館で「福連木子守唄&童謡まつり2018in天草」が開かれ約1,800人が来場しました。同まつり実行委員会が、子守唄の保存・継承と地域振興を目的に毎年開催しているもの。

天草小学校では希望者28人が昼休みに集まって練習を重ね、本番に臨みました。ソロパートを担当した5年生の二ノ宮有海<sup>あみ</sup>さんは、「緊張したけど最後までしっかり歌えました」と話していました。

## 秋空に獅子が舞う 大宮地八幡宮大祭



▲八幡宮で奉納された地区に伝わる獅子舞

10月21日、新和町大宮地地区にある八幡宮で例大祭が行われました。1km離れた天満宮で神事が行われた後、八幡宮へ向けて神幸行列が出発。鳥居の前では鳥毛振りや伝統の衣装に身を包んだ子どもたちによる長刀振りが披露され、訪れた観客から大きな拍手と歓声が上がっていました。

祭りの最後には、この地区に伝わる獅子舞が奉納され、勇壮な舞いに多くの観客が魅了されました。



幅広い世代の交流の場に  
複合施設工事安全祈願祭

▲刈初の儀を行う中村市長

10月23日、浄南町の旧本渡中学校跡地で複合施設建設工事安全祈願祭が開催されました。式典には、来賓や工事関係者約100人が参加し、神事などで工事の安全を願いました。図書館、保健センター、市民活動の場の3つの機能を持つ施設として平成32年4月の開館を目指す複合施設。工事の開始で、ご不便やご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

## 中学生が伝統の太鼓踊りを披露 第20回栖本かっぱ祭り



▲練習の成果を披露する中学生

11月4日、栖本総合グラウンドで「栖本かっぱ祭り」があり、子どもたちのステージ発表や物産コーナーでにぎわいました。

今年、栖本中学校の3年生13人が地元で伝わる県指定の無形民俗文化財「栖本太鼓踊り」を初披露。同町青年団から指導を受け2カ月近く練習に励んできた松本純くんは、「緊張したけど、青年団の皆さんのパワーを感じながらやりきることができました」と満足気に話しました。

## 遊休農地が花と笑顔で満開に 農業委員会自主活動事業



▲3,000本のヒマワリに笑顔を見せる園児

10月29日、本町下河内の遊休農地に植えたヒマワリが満開となり保育園児24人が花摘みをして楽しみました。農業委員会が10年前から各地で行っているもので、今年9月に農業委員、農地利用最適化推進委員が園児らと一緒にヒマワリの種を植えました。

園児の胸元ほどの高さで顔と同じ位の大きさに育った花を見た園児は、「きれいだね」と笑顔を見せ、夢中で摘み取っていました。



▶観光客からの祝福に笑顔を見せた新郎新婦

観光客も二人の門出を祝福  
登録後初！崎津教会で結婚式

世界文化遺産の崎津集落にある崎津教会で11月4日、登録後初の結婚式が行われました。式を挙げたのは上天草市の前田和則さん・由佳理さん夫妻。信徒の皆さんが讃美歌を歌い、親族友人らが見守るなか愛を誓いました。

挙式後は外に敷かれた赤絨毯<sup>じゅうたん</sup>を歩き、観光客からもフラワーシャワーで祝福を受けた二人は、「歴史ある教会で式が挙げられて夢のようです」と話していました。

# Vol.1 西洋式キリシタン墓碑

死者の弔いは、日本では奈良時代から火葬が一般的ですが、キリシタンはそのまま埋葬する土葬を行っていました。体は横たえて棺に寝かせる「伸展葬」。墓碑は、棺の長方形に合わせて細長い形で作られました。

キリスト教禁教令が發布される1614年以前の墓碑には、ヨーロッパの影響を色濃く受けた西洋式のキリシタン墓碑がみられます。

天草では、有明町上津浦の正覚寺から出土した県指定文化財の「正覚寺キリシタン墓碑群」と五和町二江に残る「侍どんの墓」で確認することができます。

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産に登録され、構成資産である崎津集落には多くの人が訪れています。崎津集落に注目が集まっていますが、天草には各地にキリシタンの歴史を物語る遺産があります。ここでは、市内に残る知られざるキリシタン遺産を紹介していきます。第1回は、有明町と五和町に残る西洋式キリシタン墓碑です。

## 【祝・世界文化遺産登録】天草のキリシタン遺産

【問い合わせ先】世界遺産推進室(河浦支所内) ☎1116



侍どんの墓 (五和町)

五和町二江の東雲寺付近の山中にある墓は、勇ましい名前と呼ばれていますが、一部から出土したキリシタン墓碑が集められたものです。

カマボコ型墓碑が1基、扁平伏の墓碑が数基あります。十字架や文字などはありませんが、正覚寺のものと同じ形態で17世紀初頭に作られたものと見られています。



墓碑の小口面はカマボコ型



正覚寺のキリシタン墓碑 (有明町)

昭和60年の本堂改修工事の際に発見され、カマボコ型墓碑が2基、浮彫された長方形の平型墓碑が1基あります。カマボコ型墓碑には、イエズス会の紋章のIHSと二支十字架が彫られており、うち一つには慶長11年(1606)の年号が見られ、製作年がはっきりわかります。平成5年、県文化財の指定を受けています。



カマボコの形をしていて、小口には二支十字架が彫られている

## 子どもたちの音楽で陽気に！ ちあふる音楽祭



▲くたま太鼓を披露する園児

11月10日、牛深総合センターで「ちあふる音楽祭」が開催され、牛深地域の園児や小中高校生の約150人が参加しました。英語で“陽気な”を意味するcheerfulのとおり子どもたちの発表を楽しんでもらおうと、同センターが主催したものです。

合唱やハイヤ踊り、マーチングなどを披露した子どもたちは、「みなさんに喜んでもらえてうれしい」と話していました。

## “命の道”の早期完成を目指して 熊本天草幹線道路の早期完成を求める天草島民集会



▲早期完成に向けてみんなで「がんばろう」

10月27日、「熊本天草幹線道路の早期完成を求める天草島民集会」が天草市民センターで行われ、天草内外から約700人が参加しました。地元の強い思いを大会決議として国へ届けようと、熊本天草間幹線道路整備促進期成会などが開催したものです。

地元要望発表では飲食店、農業協同組合、消防署の代表らが物流や防災などそれぞれの立場から早期完成に対する思いを強く訴えました。

## 大浦を第2のふるさとに 大浦田舎暮らし体験事業



▲稲刈りを体験する参加者

有明町の大浦地区で「大浦田舎暮らし体験」が行われています。同地区振興会が地域振興を目的に今年から始めた取り組み。体験メニューは、6月の田植えに始まり、稲刈りやミカンの収穫、催し物への参加などがあり、新米3kgがもらえます。また3回以上の体験参加でデコポンなど大浦の特産品もプレゼント。熊本市から参加している親子は、「年間を通して地域の皆さんと交流ができるので楽しいです」と話していました。

## 雄大な“倉岳”を楽しむ 第19回天草最高峰倉岳ウォーク



▲682mの山頂で昼食を食べる参加者

11月11日、天草で一番高い山“倉岳”の山頂を目指す「第19回天草最高峰倉岳ウォーク」が開催されました。同ウォーク実行委員会が毎年実施しているもので、自然登山道を歩く片道4.8kmのトレイルコースと、車道を歩く8.5kmのコースに185人が参加。

山頂付近では豚汁などが振る舞われたほか、地元特産品が当たる抽選会もあり、参加者は雄大な景色を眺めながら楽しいひとときを過ごしていました。